



生協連会報



2022

8

No. 508

<理事会報告>

第1回理事会報告	2
----------------	---

<活動報告>

憲法学習会「檻の中のライオンin千葉県生協連」開催報告	4
令和4年度消費生活協同組合役員研修会開催報告	6
2022年度第2回食・消費者委員会開催報告	8
第44回千葉県原爆死没者慰霊式典開催報告	10
千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会開催報告	11
第2回地域・まちづくり委員会開催報告	13

<千葉県消費者団体千葉県連絡会活動報告>

エネルギー・環境・福島復興学習会 「きいてみよう。アルプス水（ALPS）処理水のこと」開催報告	15
--	----



守りたい！私たちのくらしと平和 〜今こそ考えよう世界のこゝと日本のこゝ〜

憲法学習会

ロシアの侵攻によりウクライナの日常が突然に失われたことは、「平和がとても脆い」と感じた出来事でした。

日本でも新型コロナウイルス感染拡大の影響で貧困格差が広がるなど、社会不安が広がっています。そのような中「今こそ改憲して社会不安や課題を解決すべき」という意見も聞こえます。

国や国民のあり方を示す「日本国憲法」を改めて読み解き、私たちの日々の「くらし」を守るためには、どのように考え行動したらよいかを、皆さんで考えたいと思います。

◆日時

9月17日(土)

14:00~16:00

◆オンライン開催 (Zoom 配信 等)

当日の
タイムスケジュール案

14:00 開会、谷口先生講演
15:20 感想交流(ブレイクアウトルームで交流)
15:35 全体交流、谷口先生講演
16:00 閉会

【募集】200名 3つの参加方法から、いずれかをお選びください。

- A: Zoomでオンライン参加
- B: YouTubeライブ配信(講演のみ視聴)
- C: 後日アーカイブ動画視聴(期間限定配信)

【申込締切】2022年9月12日(月)正午

【申込方法】下記の方法でお申し込みください
□申込フォーム(下記URL、二次元バーコード)から

<https://onl.la/5Xyk9hU>



- ①お名前(フリガナ) ②お住いの都県 ③ご職業他(生協組合員、役職員、学生、その他) ④所属生協・団体・法人等(任意記入) ⑤参加方法(上記A・B・C) ⑥ご使用になる機器(パソコン、タブレット、スマホ、その他)

※個人情報、本企画のみでしか使用しません。

【問い合わせ】

千葉県生活協同組合連合会 043-224-7753

【お願い】通信環境は、各自でご確認、ご対応をお願いします。



講師

谷口真由美さん

(法学者・大阪芸術大学客員准教授)

様々な社会問題に、大阪のおばちゃん目線で鋭くつっこみ、問題提起し、誰にでも分かりやすく解説。テレビ、ラジオでの情報・報道番組出演、新聞・機関誌コラム、講演会など多数。TBS「サンデーモーニング」にコメンテーターとしても出演中。

【共催】
埼玉県生活協同組合連合会
神奈川県生活協同組合連合会
東京都生活協同組合連合会
千葉県生活協同組合連合会



千葉県生協連の主な活動予定 2022.8~2022.10

8月			9月			10月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	月	MCA無線通信訓練	1	木	サボちば理事会	1	土	
2	火		2	金	ウクライナ支援「お茶しませんか」第3回幹事会	2	日	
3	水		3	土		3	月	MCA無線通信訓練
4	木		4	日		4	火	消団連福島第一原発見学
5	金	ウクライナ支援「お茶しませんか」第2回幹事会	5	月		5	水	
6	土		6	火	MCA無線通信訓練	6	木	
7	日		7	水	広報担当者・消費者行政連絡会／災害対策委員会	7	金	ウクライナ支援「お茶しませんか」第3回幹事会
8	月		8	木		8	土	
9	火		9	金		9	日	
10	水		10	土		10	月	
11	木		11	日		11	火	
12	金		12	月	第3回食・消費者委員会	12	水	
13	土		13	火		13	木	
14	日		14	水		14	金	
15	月		15	木	第2回理事会	15	土	
16	火		16	金		16	日	
17	水		17	土	4都県生協連学習会	17	月	
18	木		18	日		18	火	
19	金		19	月		19	水	政策検討会
20	土		20	火		20	木	
21	日		21	水		21	金	
22	月		22	木		22	土	エコメッセちば
23	火	消団連幹事総会	23	金		23	日	エコメッセちば
24	水		24	土		24	月	
25	木		25	日	ウクライナ支援第2回「お茶しませんか」	25	火	監事会
26	金	フードドライブキャンペーンキックオフイベント	26	月		26	水	
27	土	子どもたちに平和な未来を2022	27	火		27	木	
28	日	ウクライナ支援第1回「お茶しませんか」	28	水		28	金	関東甲信越行政生協関係者連絡会
29	月		29	木		29	土	
30	火		30	金		30	日	ウクライナ支援第3回「お茶しませんか」
31	水					31	月	

千葉県生活協同組合連合会 2022年度 第1回理事会報告

- 【開催日時】 2022年7月21日（木） 13:00～14:20
【開催場所】 パルシステム千葉直営農場「パルグリーンファーム」
【出席者】 理事12名中8名出席、監事3名中2名出席、陪席1名、事務局2名

定刻になり、首藤会長理事より6月21日に開催された第73回千葉県生活協同組合連合会通常総会で全ての議案が可決承認されたこと、ご協力いただき無事終了したことに対してお礼の言葉がありました。続いて新任理事の学校生協大久保理事とちば住宅コープの高橋理事の紹介と挨拶がありました。

続いて本日の出欠状況について報告がされ、本理事会の定数を満たし成立していることを確認し、理事会規則第7条により会長理事を議長とすることを確認した上で議事に入りました。

<報告事項>

上山専務理事より千葉県生活協同組合連合会第73回通常総会の開催報告がありました。

<議決事項>

第1号議案 千葉県生協連ホームページの改修に関する件

千葉県生協連ホームページを2022年4月1日を目途に改修することを提案し第1号議案として議場に諮ったところ、ホームページの改修を議決事項とすることについて質問があり上山専務理事が応答しました。提案の内容については全員異議なく可決承認されました。

<協議事項>

1. 2022年度 下期取り組み課題について（案）

2022年度上期及び下期の主要な取り組み課題について提案があり、協議をおこないました。提案の内容について全員異議なく確認されました。

2. 2022年度千葉県生協連 政策検討会の開催について（案）

2022年度千葉県生協連政策検討会を10月19日（水）に、新型コロナウイルスの感染状況を勘案しながら、実参加を基本として開催することを提案し、協議をおこないました。テーマ・講師（案）について、政策検討会の進行についてなど意見が出され、検討した結果、今年度のテーマは、「ケアラーの課題と必要な支援」で調整することが確認されました。

<報告事項>

1. 個別報告

上山専務理事より（2）～（10）に関する報告があり、確認されました。

- （2）2022年度 千葉県生協連会員生協の会費について
- （3）ウクライナ支援「お茶しませんかプロジェクト」の開催について
- （4）「子どもたちに平和な未来を2022」の開催について
- （5）一般社団法人千葉県歯科医師会主催イベントの後援について
- （6）未来につなぐ被爆の記憶プロジェクト 夏休み親子向け企画の後援について
- （7）2022年 会員生協の総代会開催報告
- （8）内閣総理大臣認定 適格消費者団体 特定非営利法人消費者市民サポートちばの活動状況について（2022年6月度時点）

2. 活動報告

前回理事会以降から第1回理事会までの活動と課題の進捗状況について報告がありました。

3. 日本生協連関係報告

2030年ビジョン第2期中期方針検討のためのオンライン連続学習会の案内がありました。

4. 会員生協関係報告

特にありませんでした。

<文書報告>

- 1. 4都県連共催企画「憲法学習会」チラシ
- 2. 2022年度 千葉県生協連活動ロードマップ

以上

憲法学習会「檻の中のライオン in 千葉県生協連」 開催報告

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



日 時：2022年7月8日（金）10：00～12：30

開催方法：Zoom を活用したオンライン講演会

（事前申込者には後日アーカイブ配信）

出 席：当日の参加者 45 名

7月8日（金）に、憲法学習会「檻の中のライオン in 千葉県生協連」をオンラインで開催し、当日は45名の方が参加されました。

講師の ^{はんどうたいき} 椋 大樹弁護士は、広島市民法律事務所所長で、わかりやすい憲法入門書として話題の「檻の中のライオン」の著者でもあり、また全国で570回以上憲法講演会を開催している全国でも大人気の講師です。



椋（はんどう）弁護士と
千葉県民の M 君

はじめに「最近憲法について気になることが多々行われており、主権者たる国民が憲法について最低限度の知識を備えていなければいけないという、弁護士としての使命感で開催している」と講座の開催をされている説明のあと、憲法についての本題がはじまりました。

まず憲法とは、一つの仕組みであり、なんのために、どのように組み立てられた仕組みなのか、檻とライオンの関係を使いながら説明を行っていきました。

憲法を守らなければいけない人はだれか？憲法99条には守らなければならない立場の人が明記されており、私たち国民はその人たちが憲法に違反していないかをきちんと見守る役目があることを条文とともに確認しました。国民一人一人が99条を知るこ



強い力を持つライオン

とで主権者たる国民の役割、責任から政治に対する見方が代わり、関心をもつ人が増えれば、国民のための政治が行われるようになると話されました。

99条の条文をふまえて、強い力を持つ百獣の王ライオンを国家権力に例えます。このライオンは、頼りになる存在ではあるけれど、その強い力を濫用するかもしれないという恐ろしい一面もあります。

そこで檻というルールの中で活動してもらいます。その檻の役目を果たすものが憲法



檻というルール（憲法）
の中にあるライオン

です。ライオンは憲法というルールを守りその中で権力を行使すれば檻の外にいるいろいろな動物たちも安心できます。これが檻とライオンの関係です。

次に私たちすべての共通点である「人間」が人間らしく生きていくしくみから憲法を考えました。これは樹木で例えると根っこにあたるとても大事な部分です。

(天賦人権＝生まれながらにして人間らしく生きられる権利。誰かに許可を得たものではない。)



強い力を持つライオンが、檻というルールの中にいるので安心できるM君



民主主義だと多数決で全員G党にならないといけない!?けれど……。



少数派のD君、M君C君。個性を尊重し自分らしく生きる権利を持っています！

このほかパペットを使いながら人権の尊重や民主主義のルール、時事ネタを交えながら憲法全体についてわかりやすく説明をしていただきました。オンラインでの2時間半という長時間の学習会でしたがみなさん熱心に聞き入っていました。

○参加者アンケートから（抜粋）

- ・身近な問題を「例えば」の切り口で教えていただきわかりやすかったです。
- ・なぜ憲法が大事なのか他の人にも説明できるようなものでとてもよかった。右とか左とかいうこと以前のこととして子どもたちにもしっかり伝えていきたい。
- ・大切なことなのに興味をもたずに過ごしてきたことを反省。檻を知ること、ライオンを選び、その後も動向を見ていくことが必要だとわかりました。政治が、憲法から見えてくることが多いこともわかりました。選ぶということについてもより重みを感じました。「檻を壊すライオン」はぜひ読んでみたいです。
- ・久々に「憲法」を読みました。椋先生の熱弁・熱演、硬い内容にもかかわらず楽しかったです。教育の不足や〇党だからダメという訳ではない、など具体的なご意見も伺えて、TVのI氏の時事解説より腑に落ちた感がありました。
- ・これまで憲法について真面目に考えたことがありませんでした(堅苦しい、理解しにくいイメージでした)。今回、檻とライオンで例えた憲法のお話が大変分かりやすく憲法の実在の重要性を感じました。第九条も初めて本文を読み、その意味をようやく理解することができました。詳しく知れば知るほど私たち国民はもっと政治に関心興味を持ち、声を上げていかなければいけないと思います。知る⇒考える⇒行動する 私たちに出来ることから始めたいです。



参加者のみなさん

令和4年度消費生活協同組合役員研修会開催報告

- [日 時] 2022年7月14日(木) 10:00~12:10
[開催方法] Zoomによるオンライン
[参 加] 8会員生協 55名(事務局・講師含む)

7月14日に令和4年度消費生活協同組合役員研修会を開催しました。この研修会は、生協の活動に関係する千葉県行政の施策を中心にテーマを設定し、生協の政策や地域での活動の参考にしていただくことを目的に、生協を所管している千葉県環境生活部くらし安全推進課と千葉県生協連との共催で、毎年7月に行っています。今年度も昨年度に続きオンラインで開催しました。

- プログラム
- 10:00 主催者あいさつ
- 10:10 研修(1)
「世界の食料問題の現状と日本の食料課題」
講師：中嶋康博氏
- 11:50 研修(2)
「生協運営上の留意点について」
講師：藤原敏伸氏
- 12:10 閉会

○主催者あいさつ

千葉県環境生活部くらし安全推進課消費者安全推進室 菅谷直人室長

生協の活動は、生活に必要な物資の供給や共済事業など地域づくりに密着しています。本日の研修会が社会の変化や地域の実情に応じた対応や取り組みが期待される生協の今後の事業展開に役立てていただければと思います。



千葉県生協連 首藤英里子会長理事

本日の研修の1つめのテーマでは、「世界の食料問題の現状と日本の食料課題」についてです。今後、私たちが日本の食料問題を考えるうえでのきっかけとしたいと思います。2つめのテーマでは、生協運営上の留意点について学びます。法令遵守は生協の運営にとってとても重要です。本講演を聞き今一度各会員生協にてご確認いただければ幸いです。



○研修会(1)

「世界の食料問題の現状と日本の食料課題」

東京大学大学院農学生命科学研究科

中嶋 康博副研究科長・教授

ロシアのウクライナへの侵攻を受けてウクライナからの穀物の生産・輸出が大幅に減るだろうと考えられ、価格が急騰し、産業界に大きな影響を与えている。近年の食料事情はミレニアム開発目標(MDGs)がほぼ達成できたことを受けて、SDGs(持続可能な開発目標)で目標が設定された。しかし、コロナ禍が明けた後に飢餓が3000万人以上上乗せされると推計され、SDGs時代になって以降、栄養不足人口が減っていない。特にアフリカ、アジア、中南米の食料不安は着実に進行している。世界の人口増加に伴って農法の改善や化学



肥料・農薬等の利用をおこない、食料供給を向上させてきたが、地域によっては栄養不足人口が減らせていない。特に食料問題と環境問題を考えると食料を増産させれば環境問題に触れてしまい、生産抑制や環境対策技術の向上が必要である。日本の食料自給率はカロリーベースで確実に下がってきている。要因としては農家数、農業労働力、農地、農業への投資が減ってきていることに起因しているが、今後も続くと思われていて自給率の向上は困難な状況となっている。今後も人口減少は続くため、農業の省力化、省人化、自動化、ロボット化が必要である。

○研修会（２）

「生協運営上の留意点について」

千葉県環境生活部暮らし安全推進課消費者安全推進室 藤原敏伸主査

厚生労働省からの資料をもとに、1. 消費生活協同組合（生協）について 2. 所管生協に対する指導・監督について 3. 所管生協に対する許認可等について 4. 連絡事項 の 4 点についてご説明をいただきました。



○閉会あいさつ

千葉県生協連 上山精一専務理事

本日は2つのことを学ばせていただきました。中嶋先生のお話では、世界、日本の食料問題は課題がまだまだたくさんあることを学びました。私たちの日々の暮らしの中で環境問題や食品ロスなど一人一人ができることを行動に移すことが大切であると感じました。藤原主査のお話では、生協が事業活動を行う上でも法令遵守の重要性については再度確認していただくようお願いいたします。本日の研修が今後の事業活動の参考になれば幸いです。



参加者アンケートより(一部抜粋)

- ・世界の食料事情と課題について学ぶ事で、自分には何が出来るかを考える貴重な時間でした。大きな事は出来ませんが、少しでもフードロスを減らす為に見栄えの良いものばかりを求めない、陳列されている商品は手前から取る、フードロスを減らす取り組みを様々な方に伝えていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・世界と日本の食料問題について、歴史的な経緯も踏まえてのお話は大変勉強になりました。自分の活動や普段の生活にどう活かせるか、先生のお話を咀嚼し、自分に引き寄せるところまでは残念ながら到達できなかったというのが正直なところですので、さらに勉強していきたいと思います。



参加者のみなさん

2022年度第2回食・消費者委員会開催報告

日 時：2022年7月15日（金）14：00～16：00

開催会場：千葉県消費者センター 2階 研修室

出席者：藤・熊谷(パルシステム千葉)、林(コープみらい)、
(敬称略) 中井(生活クラブ生協)、小林(日本生協連)、
上山・依光(県生協連)



内 容：

第2回食・消費者委員会は千葉県消費者センターを訪問し、千葉県の消費者被害の状況や成年年齢引き下げから見た若者の被害について、説明をお聞きしました。

千葉県消費者センター 東城由紀乃次長のご挨拶に続き、千葉県生協連 上山専務理事から生協連の概要や当委員会の主旨と訪問の目的などを説明し、学習に入りました。

講義1. 千葉県消費者センターの役割と取組

講師：千葉県消費者センター次長 東城由紀乃さん

東城次長からは、消費者センターの主な業務内容と体制、また相談件数の推移や令和2年度の相談概要などを説明されました。



左から、東城次長、

宮崎相談員、君山相談員

千葉県の令和2年度のまとめによると、50歳以下の相談では「デジタルコンテンツ」に関するものが最も多く、また店舗購入以外の特殊販売の相談が約半数、特殊販売のうち「通信販売」による相談が7割もあり、その中でもやはり「デジタルコンテンツ」に関する相談が最も多い、との説明でした。

千葉県消費者センターの体制は職員総数が35人と変わりませんが、機器の老朽化などで使用していないセンター3階の商品テストフロアを2021年12月から市川児童相談所船橋支所が使用しており、現在商品テストは主に国民生活センターやNITE（製品評価技術基盤機構）に依頼しているそうです。

講義2. 最近の相談事例より

講師：消費者センター消費生活相談員 宮崎正子さん 君山潤子さん

宮崎相談員からは、全国の相談状況と千葉県の相談状況、最近多い被害事例などについて、ご説明いただきました。

令和4年度消費者白書では、高齢者(65歳以上)からの相談は全体の約3割、20歳代以下の若者からの相談は約1割とのことでした。また高齢者は訪問販売、電話勧誘販売、訪問購入など、若者は通信販売(特にインターネット通販、オンラインゲームなど)に関する相談割合が高く、また全年代でSNSが関連する相談が増加しており、SNSでの広告や勧誘、知り合った人との個人間取引などのトラブルが多くなっている、と話されました。後半は、特に若者に多い最近の相

《若者のトラブル要因》

- 知識、経験の不足
- 悩みや不安、状況を変えたいという気持ち
- コミュニケーションへの苦手意識
- 相談相手の減少
- 経済的な余裕のなさ

談事例を中心に説明していただきました。

その後の質疑応答では、県のセンターと市町村窓口との連携、高齢者見守りとしての地域包括センターや介護ヘルパーとの連携などについてなどの質問が出されました。

君山相談員からも「若者の被害も心配だが、高齢者被害も多い。生協さんには高齢者に対する配達時の気づきや声かけなど、ぜひお願いします」とのお話がありました。

【委員会】

1. 各生協からの報告

○パルシステム千葉

- ・パルシステムのつどいを、5月は19企画、6月はオンライン13企画、実開催11企画を開催しました。また、本部企画を5月に開催し、7世帯の親子が参加しました。
- ・保育の再開に向けて、ルールや備品類の最終確認をおこないました。7月は会議での保育、8月はパルシステムのつどいで保育を予定しています。
- ・6月に千葉市主催「わくわく体験まちづくり in Chiba」を開催し、来場者が100人でした。7月には柏市で、子育てフェスタを開催予定です。

○なのはな生協

- ・6月には、ゲノム編集トマト苗の小学校配布の計画撤回を求め、パイオニアエコサイエンス社に組合員2247筆の署名を提出しました。また、千葉県と配達地域の東京都の市区町村に、その苗を受けとらないよう要請文を送ったところ、6月現在で4つの自治体で「受け取らない」との回答を得ました。
- ・食品添加物学習会を5月6月と連続で開催し、参加者多数で関心の高さが伺えました。

○生活クラブ生協

- ・4月に生活クラブ虹と風のファームでトマトの学校を開催し、26組が参加しました。
- ・ビオサポマイスターの研修とマイスター講座「米編」作成に向けて、4月に食と農業を考える学習会を公開で行い、74人が参加しました。
- ・温州みかんジュースの学習会として、5月に日本果実工業の生産者交流会を開催し、96人が参加しました。生産者からいただいたジュースを、大宮高校のフードパントリーへ寄付しました。
- ・6月には加工肉の生産者「平牧工房」の生産者交流会をオンラインでおこない、68人が参加しました。市販のウィンナーと消費材との違いを学び、工場からのライブ映像も交えた楽しい交流会となりました。

○コープみらい

- ・6月の「食育月間」に合わせて千葉市「食育のつどい2022」に出展しました。パネル展示では「やってみよう食育チャレンジ」お米や魚に関するクイズを行い、3年ぶりの実開催にお子さんから大人まで楽しみながら食の知識も身につけられると評判でした。
- ・コープみらいと千葉大学と共同し、コロナ禍で厳しい生活を送っている千葉大学生700人に千葉県産米とレトルトカレーなどの食料品を提供しました。

□ 第3回食・消費者委員会 次回開催 9月12日(月)14時～16時予定 以上

第44回千葉県原爆死没者慰霊式典開催報告



7月16日、千葉県文化会館小ホールで、第44回原爆死没者慰霊式典が開かれました。

今回は昨年につき、新型コロナウイルスの感染予防から規模を縮小して、被爆者のご遺族や「原爆被爆者友愛会」、千葉県・千葉市の行政・市民団体など85名が参加して、原爆による犠牲者への冥福を祈りました。

千葉県生協連も協力団体として実行委員会に参加し、慰霊式典の運営に協力し、参列をしました。

当日は、遺族による献水や参列者による献花、高校生による平和への誓いが行われ、参列者一同で平和に対する誓いを新たにしました。



第44回千葉県原爆死没者慰霊式典の全体の様子



献花の様子



平和への誓い

以上

千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会開催報告

～パルシステム千葉直営農場『パルグリーンファーム』を視察～

7月21日（木）、パルシステム千葉直営農場『パルグリーンファーム』の視察を兼ねて、千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会を開催しました。

環境生活部から、金子くらし安全推進課課長、菅谷消費者安全推進室長、藤原主査の3名にご出席いただき、千葉県生協連から、首藤会長理事、上山専務理事、パルシステム千葉佐々木博子理事長、新村専務理事、コープみらい佐々木由佳理事、千葉大学生協石原専務理事、千葉県学校生協大久保専務理事、ちば住宅コープ高橋監事、千葉県庁生協丹波事業部長、東邦大生協有吉専務理事、千葉県高齢者生協高橋理事長、日本生協連中央地連山崎事務局長および県連事務局で合計17名が参加しました。



パルシステム千葉直営農場『パルグリーンファーム』は、職員自ら安心安全な野菜の生産、販売を行ない、組合員交流や職員の研修の場として活用したり、地域貢献の場として設立されました。椎名農場長に説明を聞きながら見学をおこないました。

写真中央

パルグリーンファームの見学と説明の様子

写真右

圃場（なす畑）



ビニールハウスは16棟、育苗棟1棟です。週の出荷量は1セットあたり2品目で約2,200セットです。小松菜、青梗菜、なす、ピーマン、きゅうり、じゃがいも、さつま芋など約15品目の栽培をしています。



取れた野菜の出荷準備
(なすの袋詰め)



↑ 小松菜の栽培
あと2週間で収穫

↓ 太陽熱土壤消毒の様子





作物や自然災害の対応についてなど
質疑応答

パルグリーンファーム農場内にある
古民家とパルシステム千葉のみなさま ⇒



見学後の懇談会では、首藤会長理事、金子課長があいさつし、上山専務理事より県内生協の概況、千葉県生活協同組合連合会の活動を報告しました。続いて、各生協の出席者から、自己紹介とそれぞれの生協の事業の紹介と活動報告がありました。

報告を受けて、各生協の取り組みについて懇談をおこない、様々な場面で行政と生協が連携して取り組みを進めていくことを確認し、懇談会が終了しました。



懇談会の様子

第2回地域・まちづくり委員会委員会報告



日 時：2022年7月22日（金）10：00～12：00

開催方法：Zoom を活用した Web 会議

出 席：佐藤・丸岡（パルシステム千葉）、高山（コープみらい）、
田端、柴山（生活クラブ千葉）、山田（なのはな）
高橋（ちば住宅コープ） 上山・竹内（生協連）
オブザーバー 前田・蔦・小林・結城（日本生協連） 敬称略

内 容

1. 学習会

第2回地域・まちづくり委員会では東京都生協連の
会員支援・地域連携推進部の栗田克紀さんを講師に迎
え、「東京の生協のまちづくり活動」についてご講演い
ただきました。



東京都生協連 栗田さん

東京都生協連では現在自治体別に生協の枠を超え、行
政や社協、地域の団体などと「自治体別まちづくり活動」
をおこなっています。学習会では生協の枠を超えて活動
することになった経緯や見えてきた問題点などをお聞
きし、千葉県での生協活動の参考にさせていただければ
と考えています。



東京都生協連 池田さん

はじめに1988年に始まった自治体別生協連絡会、

その後の2008～2010年の第2期中期計画での地域・医療生協とともに将
来的なモデルづくりへの着手、「東京の生協がめざす福祉のまちづくりへの
方向性」答申書の作成や、それをふまえた2015年からの「自治体別まちづ
くり活動」開始までの東京のまちづくり事業の経緯について説明がありまし
た。次にまちづくり活動を行う上での決め事「東京の生協のまちづくり活動
基準」についてや「自治体別まちづくり活動」の概要と、その活動の内容な
どについて詳細な説明がありました。

さらに活動の大きな柱となる「自治体別まちづくり活動」について、各行
政区での具体的な活動内容や協働、連携する団体との関係などさらに詳しい
説明がありました。また、まちづくりには人づくりは欠かせないと、その活
性化を図るために1年に3～4回、「まちづくり講座」を開催していること
やその講演内容の説明もありました。

参加者からは、「活動に参加する方々の環境についての対応方法」「生協の枠
を超えた活動の場合は、各生協の広報などはどうしているのか」「まちづくり講
座の開催の立案や、講師はどうしているのか」などの質問がありました。

2. 委員会

(1) 学習会振り返り

委員会では学習会の内容についての以下の感想がありました。(一部抜粋)

- ・生協は自組織だけでやろうとしてしまうということは共感した。
- ・課題から始めない、好きから始めるという言葉が印象的だった。
- ・街づくりとは？また生協の組合員活動についてなど考えさせられた。
- ・繋がりそうな種を見つけ、それを組合員活動に依頼するとやらされ感が出てしまうが、まちづくりにもそれは共通している。
- ・空き家を利用した居場所については協力できないか検討できる。
- ・関心を広げて、結果的に課題が解決する状況がいいのではないか。
- ・まちづくりは きっかけづくり、ひとづくりという言葉が印象的だった。

(2) 各生協からの活動報告

○パルシステム千葉 予備青果を子ども食堂ネットワークに寄贈する取り組みは、新たに千葉市子ども食堂ネットワークに提供開始。『千葉市 SDG s を活かした地域コミュニティづくりイベント「わくわく体験まちづくり in chiba」』を開催。多くの団体と連携して取り組んだ初めての企画でした。

○生活クラブ 子ども食堂基金は 43 団体（うち新規 13 団体）へ助成しました。多くの子ども食堂がフードパントリーや、お弁当の配布という形態で開催し、子どもたちとの繋がり維持につとめています。子育てママへのアンケートをおこないました。コロナ禍でのママの声を拾うことができたので企画の参考にします。見守り安心サポートを開始しました。県立大宮高校へフードパントリーを開催。秋から校内カフェを開催したいという話があがりました。

○なのはな生協 地域と協力のうえ子ども食堂は毎月 2 回開催しています。

○コープみらい 7 月 15 日にお米 500 袋千葉大の学生支援として配布しました。大学もお米 200 袋とレトルト食品の提供があり、700 名の学生に支援することができました。アンケートから「アルバイトが減っている」「親の収入減」などまだコロナによる経済的に苦しい状況がわかりました。中央共同募金会とともに「子ども・子育て支援助成」の助成団体を募集します。

○日本生協連 8 月 30 日開催 災害に関する連続セミナー第 1 回の開催について案内がありました。



参加者のみなさん

(3) 第 3 回以降の開催について
事務局が、後日調整します。

《千葉県消費者団体千葉県連絡会主催》

エネルギー・環境・福島復興学習会

「きいてみよう。アルプス(ALPS)処理水のこと」 開催報告

12 つくらひ任
つかうは任



13 英語を軸に
世界的な対応を



日 時：2022年7月19日（火）10：00～11：45
会 場：千葉市生涯学習センター ホール
参 加 者：会場参加 31人（講師、事務局含む）
後日 YouTube 視聴のべ 32人（8月1日時点）

概 要：

東日本大震災から11年が経ちました。東京電力福島第一原子力発電所では、粛々と廃炉作業が進んでいます。

今、高濃度の放射性物質を含む「汚染水」の浄化処理をおこなった後の「処理水」の海洋投棄が大きな問題となっています。

今回の学習会では、「汚染水」と「処理水」、廃炉の状況や今後予定されている「処理水」の海洋投棄のことなどと合わせ、私たちが考えなければならない基本的な問題や課題について、国と東京電力からお話いただきました。

初めに、資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 原子力発電所事故収束対応室 室長補佐 岩渕 雄太さんから、アルプス (ALPS) 処理水とそこに含ま



講師：国 岩渕雄太さん



講師：東京電力 斎藤幹雄さん

れるトリチウムの説明、安全性や国民・国際社会への理解の醸成について、ご説明いただきました。次に東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一廃炉推進カンパニープロジェクトマネジメント室 部長 斎藤 幹雄さんにご説明いただきました。冒頭、福島第一原子力発電所事故発生について謝罪されたのち、廃炉の作業と汚染水が発生する理由、汚染水処理のしくみについて説明されました。続いて、処理水(汚染水から放射性物質のト

リチウムを除去したもの)に関する政府の基本方針の下で海底トンネルを設置し、2023年春からそのトンネルで沿岸約1km先の海洋に処理水を排出すると説明されました。また安全性についても、処理水中のトリチウム濃度のチェックや海洋生物等の海域モニタリングなどを強化することで確認していくこと、国際原子力機関(IAEA)による安全確認の受け入れ、また様々なステークホルダーによる視察の機会を増やすなど、その取り組みについて話されました。



その後の質疑応答ではトリチウムの安全性、廃炉作業やその終了時期など、幅広い質問が出されました。

終了後のアンケートでは、「知識を得て理解することが消費者として必要だとわかりました。“正しく恐れる”ことが肝要だと思いました」といた声がありました。千葉県連絡会では、10月に福島第一原子力発電所廃炉見学会を予定しています。(文責：事務局)

千葉県生活協同組合連合会組織概要

創 立	1949 年
会長理事	首藤 英里子
会 員	12 生協
準 会 員	2 生協
所 在 地	千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館 5 階

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス https://mirai.coopnet.or.jp/
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス https://www.palsystem-chiba.coop/
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス https://chiba.seikatsuclub.coop/
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス https://nanohana-coop.net/
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス http://www.chibakenseikyo.or.jp/
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス http://www.univcoop.jp/chiba-u/
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス https://www.univcoop.jp/toho/
千葉商科大学生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス http://www.univcoop.jp/cuc/
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス https://www.jcgsk.com/
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス http://www.cjcoop.or.jp/
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 HP アドレス http://www.zenrosai.coop/
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス http://www.tohto-coop.or.jp/
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス https://www.coop-joso.jp/



 **千葉県生活協同組合連合会**

千葉市中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)
tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459
<http://chiba-kenren.jp/>